

棒の手部の発表

校庭に落ちた大量の落ち葉と寒そうにしている木々を見ると、いよいよ冬がやってきたかな、と思う今日この頃です。

11月9日（木）に、棒の手部による、西小流棒の手の披露がありました。今年も棒の手の演技を披露することができ、とてもうれしく思いました。

棒の手部は、10月から全部で11回、学校で練習したり、家庭で自主練習を重ねたりして本番の日を迎えました。何回やってもうまいかずに苦労した子が何人もいましたが、お師匠さんから手取り足取り教えてもらい、堂々と演じることができるようになりました。

子どもたちの振り返りにも、たくさん学んだことがあったというものがいくつもありました。棒の手部の活動を通して、学んだことをこれからも大切にしてほしいです。



ぼくは、ぼうの手がすごく伝う的なことだとわかりました。練習では、全部覚えられなかったので、家にタブレットを持ち帰って練習したおかげで全部覚えきれました。（4年児童）

ぼくは、今回の棒の手で、長久手の伝統文化に深くふれることができたと思います。去年も棒の手部の活動をしたのですが、くわしく知れないまま終わってしまいました。ですが、今回でお師匠さんたちにくわしく教えていただき、コツをつかむことができました。今回も、棒の手を経験できてよかったです。（6年児童）

私がぼうの手部にさん加した理由は、長久手の伝統芸能に触れてみたかったからです。ぼうの手部でとくにがんばったことは、毎日こつこつ練習して相手と合わせることです。合わせることは、とてもむずかしいですが、本番ではやり切ったと思いました。（5年児童）

この棒の手の活動をして、長久手の伝統芸能を、次の世代にも教えていき、棒の手をなくさないようにしたいです。お師匠さんの指導もわかりやすく、棒の手部の活動で、心が成長したような気がしました。（6年児童）

壮行会&球技大会



11月11日（土）にサッカー部、11日（土）と18日（土）にバスケットボール部の球技大会が開かれました。4年生から3年間、十分に練習をする時間がないこともありましたが、ずっと頑張ってきました。その成果をしっかりと発揮することができました。

球技大会にあたって、10日（金）は、壮行会が開かれました。金管バンド部による演奏と全校児童の西小コールがあり、西小全員で応援をしました。

土曜日にもかかわらず、応援に来ていただいた皆様、ありがとうございました。

